

令和5年度応急仮設住宅建設模擬訓練を実施しました

愛知県では、令和5年10月11日（水）から令和5年11月22日（水）までの期間で、令和5年度応急仮設住宅建設模擬訓練を実施しました。この訓練は、来るべき巨大災害に備えて、平成17年度より毎年実施しており、今回で19回目となります。

今年度は各建設事務所建築課の所管地域単位で、それぞれ電子メールを使用した机上訓練を実施しました。

当日は県職員、市町村職員、建設協力団体が参加し、応急仮設住宅建設・管理マニュアルに沿って、計画・建設プロセスを確認しました。訓練では、南海トラフ地震が発生し、県内全市町村に災害救助法が適用されたと想定し、応急仮設住宅の建設要望、被害状況に応じた建設戸数の推計、建設協力団体への連絡、建設候補地の状況調査等、建設に至るまでのシミュレーションを行いました。

訓練概要

主 催：愛知県建築局公共建築部公営住宅課

【第1回】

日 時：令和5年10月11日（水）午前10時から午後4時まで

参加者：西三河建設事務所建築課、管内10市町村、
（一社）全国木造建設事業協会

【第2回】

日 時：令和5年11月13日（月）午前10時から午後4時まで

参加者：知多建設事務所建築課、管内9市町（武豊町除く）、
（一社）日本ツーバイフォー建築協会東海支部

【第3回】

日 時：令和5年11月17日（金）午前10時から午後4時まで

参加者：東三河建設事務所建築課、管内8市町、
（一社）プレハブ建築協会、（一社）日本ムービングハウス協会

【第4回】

日 時：令和5年11月22日（水）午前10時から午後4時まで

参加者：尾張建設事務所建築課、管内24市町（弥富市除く）、名古屋市、
（一社）日本木造住宅産業協会

参加した市町村職員へのアンケートでは、「大まかな流れを理解することができた」「職場での訓練であったため、職員同士で協議しながら訓練に参加できてよかった」「マニュアル等を確認するきっかけとなった」等の感想があり、本県の災害対応力や市町村職員の防災意識の向上に資する有意義な訓練となりました。